



コミュニティへの参画



■ コミュニティへの参画

基本的な考え方

クルマを扱う当社の事業活動は、地域にさまざまな側面で影響を与え、地球環境へ負荷をかけることが必至です。そのため、当社はお客さまをはじめ、お取引先や株主、地域コミュニティや社員などのステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを取りながら、一緒に社会課題の解決に向けて、取り組み続けなければならないと考えています。

貧困、地球規模での環境悪化などの社会課題は当社だけで解決できる問題ではありませんが、社会を構成するパートナーとして社会の要請に応え、次世代の育成や地球環境の向上のためにCSR活動を行っていきます。また、コミュニティへの参画を通じて、社会課題解決やSDGsに対して、企業だけではなく、社員一人ひとりの意識を高め、小さなことでも参加してできることから実践してまいります。

2020年度の取り組み

当社は、経営理念のVisionで「クルマ社会の発展と地球環境の向上に貢献」することを掲げており、社員一人ひとりが事業と環境への関わり方を意識し、地球環境の大切さを学ぶことを目的に「SMASの森」の森林保全活動を行っています。コロナ禍で2020年度の社員参加型ボランティア活動は見送りましたが、木が育ち、健全な森になるまでは数十年から百年ほどの時間がかかります。当社が続く限り、未来の子どもに住みやすい地球環境を残す取り組みを行ってまいります。



新型コロナウイルス感染対策のため、会議室で行った東京本社での献血



「SMASの森」に設置している定点カメラで撮影できた鹿の親子

社員一人ひとりの意識を高め、小さなことでも実践を大切にする当社は、医療が発達しても血液に代わるものはないため、新型コロナウイルス感染症の対策を十分に行った上、2020年度も献血活動を実施しました。

その他、未来を支える健全な青少年の育成を支援として「全日本空手道連盟」とのサポーター契約、障がいに関わらず誰もがイキイキと活躍できる共生社会の実現に向けて「日本車いすフェンシング協会」とのゴールドパートナー契約などを通じて、社会課題の解決に向けた取り組みを行っています。

【その他活動実績】

- 公益財団法人交通遺児育英会への寄付
- 公益財団法人日本ユニセフ協会への「ユニセフ募金」としての寄付
- 公益財団法人日本補助犬協会を通じた引退した補助犬の支援プログラムへの参加・寄付
- 認定特定非営利活動法人全国就労支援事業者機構への寄付
- NPO法人Table for Two International「Cup for Two」プログラムへの参加
- 公益財団法人新国立劇場運営財団法人賛助会員
- 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会正会員
- グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンに参画しての分科会活動
- NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンへの株主優待品や防災用の非常食・水の寄贈